

とっとり若者地方創生会議 平成30年度成果報告

西岡大穂 吉田真優 大島健太郎 黒木初乃
牛木のどか 井上恵織 盛本佑介

1

目次

- ▶ はじめに 活動に向けて
- ▶ 活動報告 1 鳥取自動車道活性化協議会
torimori.サポーターズ 主催イベント
“TOTTORIじゃないと” への協力
- ▶ 活動報告 2 企業見学会「企業まる見え！見学隊」の実施
- ▶ 活動報告 3 地域と大学生とをつなぐハンドブックの作成
- ▶ 活動報告 4 その他
 - ・岡山市「大学生まちづくりチャレンジ事業」視察
- ▶ 終わりに

2

はじめに 活動に向けて

▶ H29年度活動からの次年度活動提言

テーマ

- ①若者目線のとっとりの楽しみ方の提案
- ②学生×学生×大人 いろいろな人をつなぐイベント の開催
- ③若者に伝える・伝わる広報の調査研究

→テーマに沿った内容で取り組みたいこと について
メンバーで検討

3

はじめに 活動に向けて

▶ 検討経緯

「①若者目線のとっとりの楽しみ方の提案」

→鳥取の魅力発見イベント

鳥取自動車活性化協議会、torimori.サポーターが主催する
イベントへの協力

「②学生×学生×大人 いろいろな人をつなぐイベント」

→昨年度の取組の再構築：鳥取の魅力ある企業の見学会
大山乳業農業協同組合 (株)鳥取銀行

「③若者に伝える・伝わる広報の調査研究」

→大学生に伝える・伝わる広報ハンドブックの作成
大学生の実態調査アンケートを実施

4

活動報告 1 「①若者目線のとっとりの楽しみ方の提案」

→鳥取自動車道活性化協議会

torimori.サポーターズ 主催イベント

“TOTTORIじゃないと” への協力

▶ 検討経緯1 イベントの目的

- ①地域資源を発掘する
- ②地域や人の繋がりを創る
- ③鳥取ファンを創る

▶ 検討経緯2 企画内容の検討

鳥取の楽しみ方PRイベント

→torimori.サポーターズの企画内容を聞き、

とっとり若者会議からの提案・改善点を話し合い



5

活動報告 1

鳥取自動車道活性化協議会

torimori.サポーターズ 主催イベント

“TOTTORIじゃないと” への協力

▶ 検討経緯3 広報活動

torimori.サポーターズの企画のチラシ配布、

SNS・口コミでの参加者募集広報の協力



6

活動報告 1

鳥取自動車道活性化協議会
torimori.サポーターズ 主催イベント
“TOTTORIじゃないと” への協力

▶ 鳥取の魅力発見イベントの実施

TOTTORIじゃないと

日 程 平成30年9月28日（金）～29日（土）

参加者 市内大学生29名、ゲスト8名等

- ・鳥取市中心市街地散策
- ・白ネギ収穫体験 @田中農場
- ・キャンプ・BBQにてゲストと交流 @竹林公園
- ・砂丘アクティビティ・ワークショップ @砂丘



7

活動報告 1

鳥取自動車道活性化協議会
torimori.サポーターズ 主催イベント
“TOTTORIじゃないと” への協力

▶ 参加者の感想

- ・鳥取で自分の知らなかった場所に行って、いろいろな体験ができたことで、鳥取に愛着が持てた。
- ・いろいろな場所を回って、地元の人とも話をしながら楽しむというのは、他では経験できない面白いイベントだった。
- ・フィナーレで映像編集されたものを見て、みんなで体験を共有できてよかった。 など



8

活動報告 1

鳥取自動車道活性化協議会 torimori.サポーターズ 主催イベント “TOTTORIじゃないと” への協力



▶ 参加したメンバー（とっとり若者地方創生会議）の感想

- ・いろいろなメニューが詰め込まれていて、鳥取の魅力を発見できる企画だった
- ・たくさんの学生・大人の人と知り合え、交流ができて良かった
- ・企画者側のテーマ（①地域資源を発掘する、②地域や人の繋がりを創る、③鳥取ファンを創る）が伝わった人とそうでない人がいた



9

活動報告 2 「②学生×学生×大人 いろいろな人を つなぐイベント」

→ 企業見学会『企業まる見え！見学隊』 の実施

▶ 検討経緯1 内容の検討

昨年度の社会人交流イベントの反省点

- ・一番呼び込みたかった学生層
（イベントに参加したことがない学生）
に伝わっていなかった・参加してもらえなかった

→ 広報・募集のしかたの工夫

行ってみたいと思う企業の社会見学はどうか
就職活動につながるようなイベントにしてはどうか

10

活動報告 2

企業見学会『企業まる見え！見学隊』の実施

▶ 検討経緯2 イベントの目的

- ① 学生のインターンシップ参加・就職活動等の参考に
してもらう
- ② 一つの企業でも様々な業種・業務があることを
知ってもらう
- ③ 鳥取で就職して、生活することをイメージする機会を
創出する



活動報告 2

企業見学会『企業まる見え！見学隊』 第一弾 大山乳業大潜入！

▶ イベントの実施

企業まる見え！見学隊

第一弾 大山乳業大潜入

日程 平成30年11月17日（土）

参加者 市内大学生18名

場所 大山乳業農業協同組合

- 内容
- ・ 企業説明
 - ・ 工場見学
 - ・ 意見交換

企業まる見え！見学隊
☆第一弾☆ 大山乳業大潜入!

平成30年11月17日(土)

参加者 市内大学生18名

場所 大山乳業農業協同組合

内容

- ・ 企業説明
- ・ 工場見学
- ・ 意見交換

活動報告 2

企業見学会『企業まる見え！見学隊』 第一弾 大山乳業大潜入！

▶ ご協力いただいた職員の方々

大山乳業農業協同組合

代表理事組合長	小前孝雄	氏
販売部営業課課長	川上一敏	氏
販売部営業課課長補佐	榎田勝文	氏
総務部企画室係長	福井大介	氏
総務部企画室	佐伯明美	氏
製品開発センター	石川美緒	氏



13

活動報告 2

企業見学会『企業まる見え！見学隊』 第一弾 大山乳業大潜入！



14

活動報告 2

企業見学会『企業まる見え！見学隊』 第一弾 大山乳業大潜入！

▶ 参加者の感想

- ・牛乳やヨーグルトなど商品のイメージしかもっていなかったが、企業として知ることができて、おもしろかった。
- ・職員の方がどのように働いていてどんな目標を持っているかがよくわかってよかった。
- ・酪農の業種について学ぶ機会が無かったから良い経験だった。
- ・働くことには一つのことだけではなく、幅広い分野に興味を持つことが大切だと分かった。大学生のうちに様々な経験を積んでおきたい。

15

活動報告 2

企業見学会『企業まる見え！見学隊』 第一弾 大山乳業大潜入！

▶ メンバーの感想

- ・広報・参加者募集の方法はさらに検討が必要
- ・実際に働いている若手職員の方の話を聞くことが卒業後の進路・将来を考えることにつながった。
- ・参加者の製造業へのイメージが変わったことが感じられた。
イベント後、就職活動先として考えたいと言う参加者もあり、成果があったと思う。

16

活動報告 2

企業見学会『企業まる見え！見学隊』

第二弾 TOTTORIBANK Watching

▶ イベントの実施

企業まる見え！見学隊

第二弾 TOTTORIBANK Watching

日時 平成31年1月18日（金）

参加者 市内大学生21名

場所 株式会社鳥取銀行 本店営業部

- 内容
- ・ 企業説明・業務紹介
 - ・ 意見交換
 - ・ 行内見学
 - ・ 交流会



17

活動報告 2

企業見学会『企業まる見え！見学隊』

第二弾 TOTTORIBANK Watching

▶ ご協力いただいた行員の方々

株式会社鳥取銀行

人事部人材開発室副調査役 黒田和也 氏

本店営業部営業推進課 岸本奨平 氏

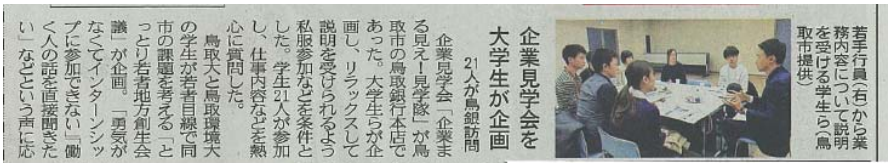
ふるさと振興部地方創生グループ 田畑英野 氏



18

活動報告 2

企業見学会『企業まる見え！見学隊』 第二弾 TOTTORIBANK Watching



2019.2.27 日本海新聞掲載



19

活動報告 2

企業見学会『企業まる見え！見学隊』 第二弾 TOTTORIBANK Watching

▶ 参加者の感想

- ・銀行の仕事は固いイメージがあったが、休日には自分のやりたいことをしたり、仲間や職場の人と和気あいあいと仕事をしていてイメージが変わった。
- ・色々な部署の方の話が聞けて、銀行の中にも様々な仕事があることが分かった。
- ・入社1年目の方など、自分たちと近い感覚で話を聞いたり、就職活動自体のことも聞くことができ、よい機会になった。

20

活動報告 2

企業見学会『企業まる見え！見学隊』 第二弾 TOTTORIBANK Watching

▶ メンバーの感想

- ・鳥取銀行では、参加者から「銀行＝堅い・固いイメージが変わった」という感想を多く聞いた。行員の方と実際にお話する中で、銀行を志望する学生も将来ビジョンが見えてきたのではないかなと思う。
- ・両企業とも複数の部署の方のお話を伺ったので、一つの企業の中にも様々な業務があることを知ってもらうことができ、また「牛乳製造」や「銀行窓口」など単純なイメージから、地元を支える企業の魅力が伝わってよかった。
- ・協力いただいた企業から、アンケート結果などフィードバックがあることを評価された。企画実施後の企業側への報告等が重要であることを会議メンバーで確認した。

21

活動報告 2 企業見学会『企業まる見え！見学隊』 第二弾 TOTTORIBANK Watching



22

活動報告3 「③若者に伝える・伝わる広報の調査研究」

→地域と大学生とをつなぐハンドブックの作成

▶ 検討経緯1 作成目的

- ・今の大学生の現状を知ってもらうこと
(車を持っていない、テレビを見ないなど)
- ・大学生と、大学生に関わる大人の方の
両者にとって有効な広報の方法を見つけること
(SNSの使い方に世代間ギャップがあることを
知ってもらうこと)



23

活動報告3 「③若者に伝える・伝わる広報の調査研究」

→大学生の実態調査アンケートの実施

▶ 検討経緯2 アンケート内容の検討と実施

- ・アンケート内容
: ハンドブック作成に必要な情報の収集
大学生の現状 (車所有率やSNSの利用状況)
- ・実施期間 : 平成30年5月～6月
- ・実施方法 : Googleフォーム
メンバーの口コミやツイッター等により依頼

24

活動報告3 「③若者に伝える・伝わる広報の調査研究」

→地域と大学生とをつなぐハンドブックの作成

▶ 検討経緯3 ハンドブック内容（※別途説明）

- ・ハンドブック作成の経緯と目的
- ・鳥取の大学の状況
鳥取大学・公立鳥取環境大学の特徴
年間スケジュール概要
- ・アンケート調査結果
- ・今どきの若者の傾向
- ・広報のしかた（ポイント・注意点） など

25

活動報告4 その他の活動

▶ 岡山市「大学生まちづくりチャレンジ事業」視察

日時 平成30年11月3日（土）

場所 岡山市役所

参加者 とっとり若者地方創生会議6名

- 内容
- ・岡山市内8大学14組から
「大学生まちづくりチャレンジ事業」
中間報告・発表
 - ・意見交換会（ワークショップ）参加

26

活動報告 4 その他の活動

▶ 岡山市「大学生まちづくりチャレンジ事業」とは

- ・地域づくりの次代を担う若者の定着を目指し、大学生が地域や企業、NPO等と協働して取り組む活動に対し、岡山市が補助金を交付し支援する「大学生まちづくりチャレンジ事業」を平成29年度から実施している。
- ・平成30年度は、岡山市内8大学14組の大学生が、この事業に取り組み、11月3日に各事業の中間報告を発表した。
- ・地元企業と協働している事例もあり、大学の各研究室・ゼミの研究内容とあわせて取り組まれている様子が伺えた。
- ・中間報告会では、各グループの進捗状況の報告と、この事業に取り組む大学生が交流する意見交換会（ワークショップ）もあり、とっとり若者地方創生会議もこのワークショップに参加させてもらった。

27

活動報告 4 その他の活動

岡山市「大学生まちづくりチャレンジ事業」視察



28

活動報告 4 その他の活動

岡山市「大学生まちづくりチャレンジ事業」視察

▶ メンバーの感想

- ・各グループの取り組んでいる分野が広く、大学生自身がやりたいことに取り組んでいる印象を受けた。
- ・岡山は大学数が多いため、活動・研究分野が多彩なことから、まちづくりの切り口もいろいろあるのだと感じた。
- ・プレーヤーとなる大学生も多いが、提携企業等の社会人の方も多く関わって、各取組が進められているおり、大学生の活動に対してのバックアップがしっかりしている。
- ・この事業で普段交流することがない学生同士が交流し、取組に対する意欲を高めあっている雰囲気を感じられた。

29

終わりに 課題について

- ▶ 人を集めることの難しさ。よい企画をしても、企画の魅力を伝え、参加につなげることが難しい。
- ▶ 企業見学会は、就活がテーマとなっているので、1, 2年生の参加は少なかった。1, 2年生と3, 4年生では、企画のテーマは変わってくる。
- ▶ 若者の定着という大きなテーマについて、各自治体や企業、他の学生団体も様々な取組をされており、内容が重複している部分がある。
- ▶ 参加学生や関係団体、また若者会議が、それぞれのつながりを継続していけるような取組が必要。

30

終わりに 成果について

- ▶ 企業見学会では、自分たちが企画のターゲットとする学生に呼びかけをし、参加してもらえた。
- ▶ 企業見学会の参加者に、それぞれの企業の魅力が伝わり、鳥取での就職を前向きに考えたいという声をもらった。
- ▶ 会議の活動について、イベント開催で終了するのではなく、これまでの経験から得た情報などをハンドブックとしてまとめ、形にすることができた。
- ▶ 視察・交流した岡山市の取組から、来年度の活動についてのイメージやアイデアを得ることができた。

31

終わりに まとめ

- ▶ 今年度とりまとめたハンドブックを踏まえ、「とっとり若者地方創生会議」が、大学生と地域をつなぐ役割を担う組織の一つになる。
- ▶ とっとり若者地方創生会議がいろいろな団体や学生とつながることで、活動の効果が波及していく。
- ▶ 若者の定着という大きなテーマについて、他にない角度・視点から、また「とっとり若者地方創生会議」にしかできない取組を進めることが必要。

32

終わりに 来年度の会議の取り組みについて 提言

- ▶ 若者（大学生）の活動にスポットライトを当てる
- ▶ 変化する鳥取の楽しみ方の提案
- ▶ 若者（大学生）が働く場に求めているものを伝えていく取組

（※提言書にて説明）